

「医学・薬学・疫学の協働：科学的根拠による 精神科医療と精神医療政策の創出(ニューパラダイム)」

社会に求められる精神科領域のエビデンスをどのように創出するかは、医学・薬学・疫学の協働が不可欠です。

精神科臨床医、疫学・医療経済研究者、製薬企業の協働による日本発の世界をリードする治療薬・治療方法、地域モデルの創出が可能であることを確認する「場」となればと考えております。ご多用中とは存じますが、どうぞご参加くださいますようお願い申し上げます。

開催日 2018年1月20日(土) 14:00～17:00 (開場13:30)

会場 イノホール&カンファレンスセンター 4階ルームA
(東京都千代田区内幸町2丁目1-1)

講演内容

開会挨拶： 福田祐典先生 (厚生労働省 健康局長(元精神障害・保健課長))

基調講演：「精神医療に求められるエビデンス：脳科学に基づく新たな診断・治療法の開発～うつ病を例として」

山脇成人先生 (国際神経精神薬理学会 前理事長、広島大学 医歯薬保健学研究所 特任教授)

認知症、うつ病、発達障害などの精神・神経疾患は急増し、社会保障費財政の観点からも国家的課題となっている。精神・神経疾患の客観的診断法は未だ確立されておらず、治療も試行錯誤で行われ、新たな治療法開発も停滞気味である。一方、近年の脳科学および人工知能技術などは急速に進展しており、その成果を活用した精神・神経疾患の病態解明、診断・治療法開発研究が展開されている。本講演では、うつ病研究を例にして脳科学に基づく新たな診断・治療法開発の現状と展望について述べてみたい。

講演1： 病院データを用いたエビデンス創出

「統合失調症患者における抗精神病薬持効性注射剤の役割と
長期使用実態ごとの後方視的比較調査」

長谷川花先生 (沼津中央病院 精神科 診療部長)

沼津中央病院は精神医療の質を高めるために、2011年から救急入院患者レジストリを活用し、入院長期化のリスク要因の分析や服薬アドヒアランスによる治療転帰の差異などについての臨床報告などを行なってきました。当日は、持効性注射剤の長期間にわたる後方視的比較調査の話を中心にしながら、一病院に限定されていますが、臨床実践のデータ解析の意味や可能性についてお話しする予定です。

講演2： レセプトデータを用いたエビデンス創出

「精神疾患の診断と処方への揺れの実態」

佐藤敏彦先生 (青山学院大学大学院 社会情報学研究所 特任教授/RIHDS理事長)

精神疾患はその性質上、客観的診断が困難であり、主治医の判断によるところが大きい。従って、その診断は主治医の技量や考え方によりバラツキがあることが予想される。本講演では、レセプトデータベースを用いてそれぞれの患者を一定期間追跡することにより、同一医療機関における精神疾患診断名の併病や変化、医療機関による差異等の実態を示す。このような実態を関係者が共有することにより、今後、エビデンスに基づく診断・治療法の開発が促進されることを期待したい。

パネルディスカッション

座長 福田祐典先生 (厚生労働省 健康局長(元精神障害・保健課長))

川上浩司先生 (京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 教授)

第1回研究助成金事業採択者 研究計画発表

プログラム

※時間は変更となる場合がございます

14:00	開会挨拶 福田祐典先生 (厚生労働省 健康局長 (元精神障害・保健課長))
14:20	基調講演 「精神医療に求められるエビデンス:脳科学に基づく新たな診断・治療法の開発 〜うつ病を例として」 山脇成人先生 (国際神経精神薬理学会 前理事長、広島大学 医歯薬保健学研究科 特任教授)
14:50	講演1 病院データを用いたエビデンス創出 「統合失調症患者における抗精神病薬持効性注射剤の役割と長期使用実態 ごとの後方視的比較調査」 長谷川花先生 (沼津中央病院 精神科 診療部長)
15:20	講演2 レセプトデータを用いたエビデンス創出 「精神疾患の診断と処方への揺れの実態」 佐藤敏彦先生 (青山学院大学大学院 社会情報学研究科 特任教授/RIHDS理事長)
15:50	準備と休憩(10分)
16:00	パネルディスカッション
16:40	第1回研究助成金事業採択者 研究計画発表
17:00	閉演

申込方法 参加者140名まで (先着順)

企業名、部署名、お名前、電話番号をご記入のうえ、以下のメールアドレスまでお申し込みください。(※代表でお申し込みされる方は、ご参加される方全員について記載をお願いいたします。)

お申込みメールアドレス

rihds@jmdc.co.jp

応募締切: **2018年1月12日 (金)**

会費

一般: 7,000円 会員: 3,000円 学生: 2,000円

お持ち物

お名刺 2枚 (ネームプレート用と当研究所控え用)

《ご注意》

- 定員を超えた場合は、お断りすることがございます。予めご了承ください。
- キャンセルの場合は研究所事務局へメール(rihds@jmdc.co.jp)にて、ご連絡ください。
- お預かりした個人情報は、講演会参加の受付、講演会当日の出席確認、および研究所事業に関する情報・サービス提供のための郵便物、電話、電子メール等に利用する場合があります。

周辺案内図



お問合せ先: (一社)ヘルスケア・データサイエンス研究所事務局 (担当: 友田)

電話: 03-5733-5010

メール: rihds@jmdc.co.jp



社会に役立つ研究と実践を目指す